関係性攻撃と心理社会的適応との関連(9)

一多次元性関係性攻撃尺度(職場社会人用)の構成一

○濱口佳和¹・櫻井茂男¹・桑原千明²・設楽 紗英子²・渡辺弥生³

(¹筑波大学人間系・²関東短期大学・³法政大学)

キーワード: 関係性攻撃・就労者・因子構造

Relationship between relational aggression and psycho-social adjustment (9)

Yoshikazu HAMAGUCHI, Shigeo SAKURAI, Chiaki KUWABARA, Saeko SHITARA,

and Yayoi WATANABE

(¹Faculty of Human Sciences, University of Tsukuba, ²Kanto Junior College, ³Hosei University)

Key words: relational aggression / scales for workers / factor structure

【問題と目的】

関係性攻撃(relational aggression)は、「仲間関係を操作することにより、他者に危害を加えることを意図した攻撃行動(Crick & Grotpeter, 1995)」と定義される。従来児童・青年を対象とした研究が多く、成人期以降の研究は殆ど見られない。近年我が国では、職場におけるパワー・ハラスメントが問題視され、関係性攻撃も「人間関係からの切り離し」などとして主な行為類型に数えられている(厚生労働省, 2011)。しかし、職場の関係性攻撃の被害者・加害者への影響は知られていない。そこで本研究では、濱口他(2011)の結果を基に、社会人の職場における関係性攻撃の個人差測定尺度を作成することを目的とする。

【方 法】

調査対象者 互いに重複のない3つの標本集団の719名(男357,女362)。(A)東北地方を除く全国の20～60代の就労者214名(男105,女109)。(B)全国の10代～60代の就労者190名(男女各95名)。(C)全国の10代～60代の就労者315名(男157,女158名)。3標本集団間で対象者の重複はない。

調査方法 民間調査会社によるWeb調査として実施。

質問紙の構成 標本集団共通に多次元性関係性攻撃尺度(職場社会人用:MRAS-W) 原版63項目(5件法)が含まれた。これ以外の尺度は標本集団ごとに異なる(A,Bについては標本集団の質問紙構成は一連発表(10)参照)

調査時期 Aは2011年3月, B, Cは同年10月に実施。

【結果と考察】

「全くあてはまらない」に60%以上が「はい」と回答した19項目を除き、44項目に主因子法・プロマックス回転の因子分析を実施した。どの因子にも高い因子負荷量が見られない項目、複数因子に高い負荷量が見られる項目を除外して因子分析を重ね、最終的に固有値1.00以上の4因子を抽出(累積寄与率53.79%)。「孤立化」「関係操作」「陰口/噂の流布」「無視」と命名された。各因子に.40以上の負荷量を示す項目から下位尺度を構成、 α 係数を算出、.80～.89の高い信頼性が示された。年代と性別を独立変数とした多変量分散分析の結果、孤立化と関係操作で女性より男性が有意に高かった。

年代では、①孤立化で30代が40・50・60代より有意に高く、20代が50代より有意に高い、②関係操作で30代と60代が40代・50代よりも有意に高い、③噂・陰口の流布では20・30代の方が40・50代より高く、30代の方が40代より高いことが明らかにされた。本研究は、科学研究費補助金基盤研究(B)「関係性攻撃と心理社会的適応との関連についての生涯発達心理学的研究(22330187)代表; 濱口佳和」の助成で行われた。

T A B L E 1 多次元性関係性攻撃尺度(職場社会人用)の因子パターン行列の一部(n=719)

項	目 / 因子	I	II	III	IV
孤 立 化 ($\alpha=.89$: $M=22.49$, $SD=9.29$)					
職場で嫌いな人がいても、その人が仲間達と仲良くなるのを邪魔するようなことはしない(逆)		.79	.13	-.10	-.22
職場で親しい人が嫌っている人でも、自分が嫌いでなければふつうに付き合う(逆)		.73	.09	-.00	-.15
職場の誰かに腹を立てても、その人が親しくしている人と親しくなって、その人を孤立させようとはしない(逆)		.73	.11	-.00	-.14
他全11項目					
関係操作 ($\alpha=.88$: $M=17.29$, $SD=6.48$)					
職場の競争相手に勝つために、その人が仲良くしているグループを自分の味方につけようとする		.03	.74	-.00	-.07
職場の誰かに腹を立てたとき、その人が親しくしている人にとさら仲良くすることがある		.06	.72	-.00	-.04
職場の誰かに言うことをきかせるために、その人が話しかけてきてもわざと無視してつれなくすることがある		.14	.66	.03	.06
他全10項目					
噂・陰口の流布 ($\alpha=.85$: $M=19.67$, $SD=6.82$)					
職場の誰かの良くない話を自分から職場内に広めることがある		-.01	.05	.74	-.02
職場の誰かのよくない噂を聞いたら、それを同僚に話す		-.18	.10	.72	.08
職場で表面では仲良くしていても、その人がいなくなったら悪口を言うことがある		-.11	.14	.63	.04
他全9項目					
無 視 ($\alpha=.80$: $M=8.29$, $SD=3.30$)					
職場で嫌いな人の言動にはわざと関心を払わないことがある		-.10	.03	.02	.77
職場で嫌いな人がちかづいてきたら、気づかないふりをしてその場から離れることがある		.02	.09	.05	.70
他全3項目					